

親潮は、黒潮と並んで日本人にとって古くからなじみの深い海流です。親潮はオホーツク海やベーリング海を源流域とする、冷たい水がゆっくりと流れる寒流です。
ここでは親潮にすむさまざまな魚たちや沿岸に繁茂する豊かな海藻類などを紹介しています。

(3) 砂地にすむ魚

砂地の海底にはヒラメやカレイの仲間が見られます。ヒラメやカレイの仲間は、体の一方に眼が偏っています。「左ヒラメの右カレイ」といわれ、ほとんどのカレイの仲間は体の右側に両眼があります。また、有眼側の色素が発達しており、周囲の砂の状態に合わせて体

の色を変化させることができるのが特徴です。普段は水槽の砂の中に潜っていたり砂の上に横たわっているため、なかなか見つけることができません。



▲ヒラメ



▲イシガレイ



▲親潮水槽

展示資料解説

(4) 岩礁にすむ魚

親潮の水槽の岩陰には、ギスカジカなどカジカの仲間やホッケなどのアイナメの仲間が多く見られます。岩陰にすむ魚の多くは、周囲の色と似た色をしていて岩陰でじっと動かず潜んでいるため、なかなか見つけることができません。



▲ヨコスジカジカ



▲ホッケ